



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー代行 (氏名) 岡田高志
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 052-732-5200

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,359	2.1	219	14.4	232	9.0	201	42.6
2019年3月期	3,433	3.9	191	3.4	255	24.6	141	17.0

(注) 包括利益 2020年3月期 192百万円 (86.0%) 2019年3月期 103百万円 (4.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	49.53		3.7	3.7	6.5
2019年3月期	34.13		2.5	4.0	5.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 2百万円 2019年3月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	6,102	5,353	87.7	1,401.80
2019年3月期	6,386	5,582	87.4	1,350.01

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,349百万円 2019年3月期 5,582百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	269	644	476	3,324
2019年3月期	88	71	240	4,171

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		40.00	40.00	165	117.2	2.9
2020年3月期		0.00		40.00	40.00	152	80.8	2.9
2021年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,572	5.1	85	154.5	85	103.9	14	86.3	3.77
通期	3,183	5.2	237	8.5	238	2.8	194	3.5	50.88

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	4,536,000 株	2019年3月期	4,536,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	719,612 株	2019年3月期	401,212 株
期中平均株式数	2020年3月期	4,060,903 株	2019年3月期	4,134,788 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,019	1.9	6		81	33.2	127	27.5
2019年3月期	2,059	1.0	18		121	12.3	99	35.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	31.30	
2019年3月期	24.12	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2020年3月期	4,584		4,135		90.2	1,083.51		
2019年3月期	4,933		4,440		90.0	1,073.99		

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,135百万円 2019年3月期 4,440百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	948	6.5	72	101.0	30	76.7	円 銭
通期	1,869	7.4	85	5.8	50	60.5	7.87
							13.16

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の変動	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより緩やかな回復基調で推移してきたものの、海外経済や消費税増税の影響に加え、年度末にかけて新型コロナウイルス感染拡大により消費や生産の停滞が顕在化するなど景気減速が懸念されております。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、緊急事態への対応等、新しい仕組みづくりが求められております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、既存教室及び既存サッカースクールの生産効率の見直しを徹底してまいりました。

この結果、売上高33億59百万円（前期比2.1%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益2億19百万円（前期比14.4%増）、経常利益2億32百万円（前期比9.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2億1百万円（前期比42.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①教育事業

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシス（稲門塾）を含む当期の平均生徒数は6,600名（前期比2.7%減）となりました。

この結果、売上高は24億76百万円（前期比2.3%減）となり、セグメント利益は、3億18百万円（前期比9.7%増）となりました。

②スポーツ事業

当期の平均生徒数は7,788名（前期比1.4%増）となり、売上高5億81百万円（前期比1.5%増）、セグメント損失は、50百万円（前期セグメント損失24百万円）となりました。

③飲食事業

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当期の売上高2億9百万円（前期比0.8%減）、セグメント損失は49百万円（前期セグメント損失55百万円）となりました。

④その他

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当期の売上高95百万円（前期比19.2%減）、セグメント利益は0百万円（前期セグメント損失18百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億83百万円減少（前年同期比4.4%減）し、61億2百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億47百万円減少したことと、投資有価証券が6億39百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度に比べ、54百万円減少（前年同期比6.8%減）し、7億49百万円となりました。これは主に、短期借入金金が50百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億28百万円減少（前年同期比4.1%減）し、53億53百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度に比べ、0.3%ポイント増加し、87.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益が3億20百万円となりましたが、投資有価証券の取得による支出が6億95百万円あったことと、自己株式の取得による支出が2億60百万円あったことにより、前期末に比べ8億47百万円（前期末比20.3%減）減少し、当期末は33億24百万円となりました。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動による資金の増加は2億69百万円（前年同期比204.3%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が3億20百万円（前年同期比28.9%増）あったことと、法人税等の支払額が1億11百万円（前年同期は1億9百万円）あったことによるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動による資金の減少は6億44百万円（前年同期は71百万円の増加）となりまし

た。これは主に、投資有価証券の取得による支出が6億95百万円あったことによるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は4億76百万円(前年同期は2億40百万円の減少)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が2億60百万円あったことと配当金の支払額が1億65百万円(前年同期は1億65百万円)あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

年度末からの新型コロナウイルス感染拡大による影響から、教育事業、スポーツ事業ともに、平均生徒数の減少を見込んでおります。

教育事業は、通期の平均生徒数が、当期6,600名から、次期6,006名となる見込から、売上高23億77百万円(当連結会計年度比4.0%減)と見込んでおります。

スポーツ事業は、通期の平均生徒数が、当期7,788名から、次期7,009名となる見込から、売上高5億1百万円(当連結会計年度比13.8%減)と見込んでおります。

飲食事業は、売上高2億9百万円(当連結会計年度と同額)と見込んでおります。

利益面につきましては、主に人件費の見直しにより、利益率の改善を見込んでおります。

その他の事業を含めた通期の業績予想は、売上高31億83百万円(当連結会計年度比5.2%減)、営業利益2億37百万円(同8.5%増)、経常利益2億38百万円(同2.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1億94百万円(同3.5%減)と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業グループは、現時点において会計基準に関しては日本基準を選択しており、当企業グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しております。

なお、IFRSの適用につきましては未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,923,789	4,076,521
受取手形及び売掛金	20,699	16,457
商品及び製品	172,544	183,360
原材料及び貯蔵品	12,951	10,151
前払費用	49,541	53,195
その他	37,438	38,530
流動資産合計	5,216,965	4,378,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	498,305	482,846
減価償却累計額	△279,397	△281,941
建物及び構築物（純額）	218,908	200,904
土地	130,646	126,646
その他	90,017	93,469
減価償却累計額	△79,740	△82,833
その他（純額）	10,276	10,635
有形固定資産合計	359,831	338,187
無形固定資産		
ソフトウェア	6,627	4,273
のれん	58,235	43,676
その他	21,708	20,125
無形固定資産合計	86,571	68,076
投資その他の資産		
投資有価証券	179,358	818,658
関係会社株式	23,583	20,849
長期貸付金	29,506	31,416
長期前払費用	7,540	5,459
繰延税金資産	50,683	50,880
投資不動産	98,811	96,185
敷金及び保証金	221,980	210,330
保険積立金	101,187	79,790
その他	10,477	4,772
投資その他の資産合計	723,130	1,318,343
固定資産合計	1,169,534	1,724,606
資産合計	6,386,499	6,102,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,881	35,082
短期借入金	250,000	200,000
未払金	32,412	29,146
未払法人税等	57,080	67,729
未払消費税等	20,269	41,183
未払費用	106,043	101,036
前受金	88,155	78,168
賞与引当金	47,839	43,164
役員賞与引当金	—	555
その他	30,743	18,297
流動負債合計	670,425	614,363
固定負債		
退職給付に係る負債	105,927	102,108
資産除去債務	18,516	18,292
その他	9,629	14,868
固定負債合計	134,073	135,268
負債合計	804,498	749,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,733,097	5,768,858
自己株式	△370,992	△631,962
株主資本合計	5,604,504	5,379,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,340	△46,743
為替換算調整勘定	17,836	17,277
その他の包括利益累計額合計	△22,503	△29,465
非支配株主持分	—	3,362
純資産合計	5,582,001	5,353,192
負債純資産合計	6,386,499	6,102,824

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,433,407	3,359,971
売上原価	2,250,227	2,228,900
売上総利益	1,183,179	1,131,070
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	114,942	100,017
役員報酬	79,600	77,750
役員退職慰労金	10,000	—
給料及び手当	195,222	187,495
雑給	19,339	15,677
賞与	23,079	20,807
賞与引当金繰入額	12,254	10,815
法定福利及び厚生費	51,627	49,947
旅費及び交通費	51,151	43,239
地代家賃	76,402	75,634
減価償却費	10,553	8,506
のれん償却額	16,335	14,558
支払手数料	112,956	97,625
その他	218,030	209,696
販売費及び一般管理費合計	991,495	911,772
営業利益	191,684	219,297
営業外収益		
受取利息	1,393	1,666
受取配当金	4,690	5,147
保険解約返戻金	62,929	10,411
受取手数料	283	307
受取賃貸料	2,468	1,808
受取保険金	258	462
その他	1,333	4,937
営業外収益合計	73,357	24,740
営業外費用		
支払利息	3,837	3,600
持分法による投資損失	916	2,733
投資有価証券評価損	4,029	4,928
その他	1,001	544
営業外費用合計	9,785	11,806
経常利益	255,256	232,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
事業分離における移転利益	5,660	—
固定資産売却益	1,476	977
投資有価証券売却益	4,221	—
受取保険金	—	135,959
特別利益合計	11,358	136,936
特別損失		
固定資産売却損	68	—
固定資産除却損	4,299	3,123
減損損失	13,726	—
投資有価証券評価損	—	42,181
役員弔慰金	—	3,505
特別損失合計	18,094	48,810
税金等調整前当期純利益	248,520	320,357
法人税、住民税及び事業税	103,017	121,039
法人税等調整額	4,394	△197
法人税等合計	107,412	120,842
当期純利益	141,107	199,515
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△1,637
親会社株主に帰属する当期純利益	141,107	201,152

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	141,107	199,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,829	△6,402
為替換算調整勘定	△1,728	△559
その他の包括利益合計	△37,557	△6,962
包括利益	103,549	192,553
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	103,549	194,190
非支配株主に係る包括利益	—	△1,637

(3) 連結株主資本等変動計算書
前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	212,700	29,700	5,757,381	△370,992	5,628,789
当期変動額					
剰余金の配当			△165,391		△165,391
親会社株主に帰属する当期純利益			141,107		141,107
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△24,284	—	△24,284
当期末残高	212,700	29,700	5,733,097	△370,992	5,604,504

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△4,511	19,565	15,054	5,643,843
当期変動額				
剰余金の配当				△165,391
親会社株主に帰属する当期純利益				141,107
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△35,829	△1,728	△37,557	△37,557
当期変動額合計	△35,829	△1,728	△37,557	△61,842
当期末残高	△40,340	17,836	△22,503	5,582,001

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	212,700	29,700	5,733,097	△370,992	5,604,504
当期変動額					
剰余金の配当			△165,391		△165,391
親会社株主に帰属する当期純利益			201,152		201,152
自己株式の取得				△260,970	△260,970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	35,761	△260,970	△225,208
当期末残高	212,700	29,700	5,768,858	△631,962	5,379,295

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△40,340	17,836	△22,503	—	5,582,001
当期変動額					
剰余金の配当					△165,391
親会社株主に帰属する当期純利益					201,152
自己株式の取得					△260,970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,402	△559	△6,962	3,362	△3,599
当期変動額合計	△6,402	△559	△6,962	3,362	△228,808
当期末残高	△46,743	17,277	△29,465	3,362	5,353,192

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	248,520	320,357
減価償却費	32,891	28,484
減損損失	13,726	—
移転利益	△5,660	—
のれん償却額	16,335	14,558
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,555	△4,675
受取利息及び受取配当金	△6,084	△6,813
支払利息	3,837	3,600
保険解約損益 (△は益)	△62,929	△10,411
持分法による投資損益 (△は益)	916	2,733
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,221	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,029	47,109
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,476	△977
受取保険金	—	△135,959
有形固定資産除却損	232	59
無形固定資産除却損	890	—
投資その他資産除却損	3,175	3,064
役員弔慰金	—	3,505
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,420	4,242
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52,832	△8,015
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,390	△2,799
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	555
前受金の増減額 (△は減少)	9,646	△9,986
預り保証金の増減額 (△は減少)	△3,509	2,538
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,333	△3,819
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,929	20,922
その他の流動資産負債の増減額	8,089	△29,011
その他	501	5,881
小計	196,233	245,143
利息及び配当金の受取額	6,082	6,812
利息の支払額	△3,830	△3,573
保険金の受取額	—	136,109
役員弔慰金の支払額	—	△3,505
法人税等の支払額	△109,830	△111,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,654	269,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△751,900	△838,400
定期預金の払戻による収入	751,900	838,400
有形固定資産の取得による支出	△48,798	△2,005
有形固定資産の売却による収入	5,076	12,599
無形固定資産の取得による支出	△1,723	—
保険積立金の解約による収入	110,473	31,046
関係会社株式の取得による支出	△24,500	—
投資有価証券の取得による支出	—	△695,000
投資有価証券の売却による収入	13,491	—
投資不動産の売却による収入	9,641	—
投資その他の資産の取得による支出	△9,903	△7,748
投資その他の回収による収入	25,881	16,084
貸付けによる支出	△25,400	△6,699
貸付金の回収による収入	18,935	5,148
その他	△1,402	1,836
投資活動によるキャッシュ・フロー	71,772	△644,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△50,000
長期借入金の返済による支出	△74,672	—
リース債務の返済による支出	—	△222
自己株式の取得による支出	—	△260,970
配当金の支払額	△165,391	△165,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,063	△476,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,267	△716
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△80,903	△852,267
現金及び現金同等物の期首残高	4,252,183	4,171,280
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	5,000
現金及び現金同等物の期末残高	4,171,280	3,324,012

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品・サービス別に事業部及び連結子会社を置き、各事業部及び連結子会社は取り扱う商品・サービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部及び連結子会社を基礎とした商品・サービス別事業セグメントから構成されており、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報を提供するため、経済的特徴及び商品・サービス等の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「教育事業」、「スポーツ事業」及び「飲食事業」の3つを報告セグメントとしております。

「教育事業」は、小・中学生及び高校生を対象とした学習塾を行っております。「スポーツ事業」は、幼児・小学生を対象としたサッカー教室を行っております。「飲食事業」は、弁当の宅配事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	連結財務諸表 計上額(注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,535,954	572,852	210,840	3,319,647	113,759	3,433,407	—	3,433,407
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	3,840	3,840	△3,840	—
計	2,535,954	572,852	210,840	3,319,647	117,599	3,437,247	△3,840	3,433,407
セグメント利益 又は損失(△)	290,666	△24,991	△55,520	210,153	△18,469	191,684	—	191,684
セグメント資産	2,189,187	128,846	286,060	2,604,094	213,964	2,818,058	3,568,440	6,386,499
セグメント負債	528,517	3,489	16,906	548,913	5,585	554,498	250,000	804,498
その他の項目								
減価償却費	23,373	3,554	1,124	28,052	4,838	32,891	—	32,891
のれんの償却額	16,335	—	—	16,335	—	16,335	—	16,335
持分法投資損失 (△)	—	—	—	—	△916	△916	—	△916
特別損失 (減損損失)	13,726	—	—	13,726	—	13,726	—	13,726
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	36,208	—	—	36,208	—	36,208	3,239	39,448

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額3,568,440千円は、本社の現金及び預金、投資有価証券であります。

(2) セグメント負債の調整額250,000千円は、本社の短期借入金であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額3,239千円は、主に本社設備の投資額であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	連結財務諸表 計上額(注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,476,911	581,590	209,050	3,267,551	92,419	3,359,971	—	3,359,971
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	2,652	2,652	△2,652	—
計	2,476,911	581,590	209,050	3,267,551	95,072	3,362,623	△2,652	3,359,971
セグメント利益 又は損失(△)	318,848	△50,617	△49,052	219,177	119	219,297	—	219,297
セグメント資産	2,628,094	139,339	179,184	2,946,617	229,728	3,176,346	2,926,477	6,102,824
セグメント負債	527,992	3,455	15,675	547,123	2,508	549,632	200,000	749,632
その他の項目								
減価償却費	20,910	2,524	860	24,296	4,187	28,484	—	28,484
のれんの償却額	14,558	—	—	14,558	—	14,558	—	14,558
持分法投資損失 (△)	—	—	—	—	△2,733	△2,733	—	△2,733
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	3,902	—	—	3,902	292	4,195	1,415	5,610

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額2,926,477千円は、本社の現金及び預金、投資有価証券であります。

(2) セグメント負債の調整額200,000千円は、本社の短期借入金であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額1,415千円は、主に本社設備の投資額であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	報告セグメント				その他 (千円)	全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)			
当期償却額	16,335	—	—	16,335	—	—	16,335
当期末残高	58,235	—	—	58,235	—	—	58,235

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント				その他 (千円)	全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)			
当期償却額	14,558	—	—	14,558	—	—	14,558
当期末残高	43,676	—	—	43,676	—	—	43,676

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,350.01円	1,401.80円
1株当たり当期純利益金額	34.13円	49.53円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	141,107	201,152
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	141,107	201,152
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,134	4,060

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,582,001	5,353,192
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,582,001	5,353,192
差額の主な内訳(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(千株)	4,536	4,536
普通株式の自己株式数(千株)	401	719
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	4,134	3,816

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①新任予定取締役 (2020年6月24日予定)

橋本 学 (現 監査役)

岡田 高志 (現 管理部マネージャー代行)

②新任予定監査役 (2020年6月24日予定)

太田 雅彦

③退任予定監査役 (2020年6月24日予定)

橋本 学